京都府知事

(宛 先)

森林の保全及び整備、再生可能エネルギーの利用その他の地球温暖化対

策により削減した

地球温暖化対策に

特記事項

動

事業者排出量削減報告書

令和6年 7月 23日

トン

トン

トン

トン

0.0 トン

	住所		人にあっては、	主たる事務	報告者の氏名(法人にあっては、名称及び代表者名)										
大阪市北						グンゼ株式会社 代表取締役社長 佐口 敏康									
ハービス	OSAKA	オフ	ィスタワー22階 	当 —————	<u> </u>	電話番号: 06-6348-1313									
主たる	る業種	Ì	ニット製下着製							細分類番号 1 1 7 2					
事業者の区分					■ 第12条第1項第1号							-			
			京都府地球沿	[1]	■ 第12条第1項第2号又は第3号										
					■ 第12条第1項第4号										
計 画	期	間				5 年 4 月から令和 8 年 3 月まで									
基本	方	針	地球温暖化防止の為、製造設備等の蒸気(LNG)及び電力の使用効率の向上などによりCO2排出量を4%減少させる。												
計画を推 めの体制		るた	環境委員会・CapDo会議などにより目標対実績及び計画進捗管理を実施する。												
			温室効果	ガスの抜	非出の量	基準年度 (令和2~4年度)	第1 ^年 (令和5		第2年 (令和6年		第3年/(令和7年		増	減	率
温室効果ガスの排 出の量		り排	事業活動	に伴う	排出の量	6,518.3 トン	5, 906. 2	トン		トン		トン	-9.4		パーセント
		- 101	評価の対象	象となる	排出の量	6,978.4	5, 906. 2	トン		トン		トン	-15.4		パーセント
			実績に対する自己評価温室効果ガス排出量が-15.4%となり、目標4%減を達成できた。												
原単位当たりの活			事業の用に供す る建築物の用途	原 単 位	の指標	基準年度 (令和4年度)	第1 ^年 (令和5		第2年 (令和6年		第3年		増	減	率
			工場		伴う排出の量 産量)	6. 52	(6. 93					6. 29		パーセント
室効果ガ 等	ス排出	出量			伴う排出の量										パーセント
			実績に対する自己評価事業活動に伴う排出量対前年9.4%の減ではあったが、生産量対前年14.8%減により原単位が増加(悪化)した。											単位が増	
子 L 4) > d			* +	4 11	/- //> //-	基準年度 (令和4年度)	第 1 ^左 (令和 5		第2年 (令和6年		第3年/(令和7年		備		考
里 点	时(こ 天	施する取	組の美力	他状况	12 %-		パーセント		パーセント	,	パーセント			
			令和5年度			コンプ レッサーの効率運転化(負荷に応じた運転にシフト)									
具体的な取組及び 措置の内容		令和6年度			ボイラーの効率運転化(遠隔監視構築により運転台数等評価)										
			令和7年度			廃水廃熱回収強化によるLNG使用量削減									
通勤における自己 の自動車等を使用 することを控えさ		吏用	措 置 の 内 容			特になし									
せるためん た措置															
			区 分			第1年度(令和5年)					第3年度 令和7年度)		備		考
			森林の保全及び整備によるもの			, 6	トン		トン	, ,-		トン			
	A 77 ~ 13	+-	1.1. 1.15 	- 41 H :-	1. 7 .7 -										

注 1 該当する□には、レ印を記入してください。特定事業者以外で自主参加される事業者の方は、レ印の記入は不要です。

計

- 2 「細分類番号」とは、統計法(平成19年法律第53号)第2条第9項に規定する統計基準である日本標準産業分類の細分類番号をいいます。
- 3 「基準年度」とは、計画期間の前年度又は計画期間の前の3年度の事業活動に伴う排出の量又は原単位の数値の平均をいいます。
- 4 「増減率」とは、基準年度と比較した計画期間の平均の増加又は減少の割合をいいます。

地域産木材の利用によるもの

再生可能エネルギーを利用した電力又

グリーン電力証書等の購入によるもの

温室効果ガス排出量の削減又は吸収の

は熱の供給によるもの

<u>量の購入によるもの</u> 合

資する社会貢献活 京都モデルフォレストに参加

5 「重点的に実施する取組の実施状況」とは、温室効果ガスの排出の量を削減するために重点的に実施した取組の実施率を地球温暖化対策指針で定める方法により算出して記入し、その算出の根拠となる資料を添付してください。

トン

トン

トン

トン

0.0 トン

トン

トン

トン

0.0 トン